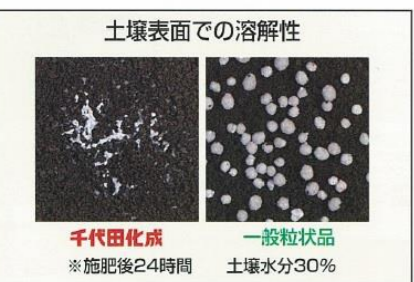


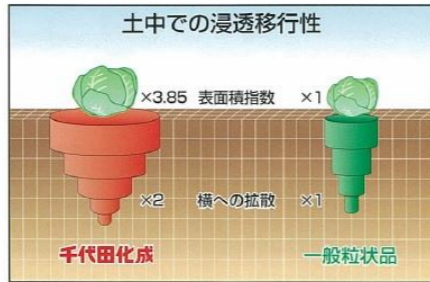
## 果樹のお礼肥えは **千代田化成**

9月になっても暑さが続く予報ですが、各地の店先にはミカンやモモ、ブドウ、ナシといった果物が並ぶようになり、季節が進んでいることを感じさせられます。暑い中、沢山の果実を実らせた果樹類は、収穫を終えるころには疲労のピークを向かえています。疲れた樹体(樹勢)をなるべく早く回復させ、翌年の花芽の充実を図り、貯蔵養分の蓄積を促すためのお礼肥は、一刻でも早く効くことに越したことはありません。**千代田化成** は少ない水分で溶解し、表層施肥でも各肥料成分が揃って浸透・拡散し、吸収・消化されますので、お礼肥にピッタリの肥料です。



**はやく効きます。**

少ない水分でもはやく溶け、すみやかに作物に吸収されます。



**拡散性に優れています。**

土壌中での拡散性が高いため、根へ到達するのが早く、さらに広範囲の根域へ広がることから、効率良く吸収されます。

九州では熊本や長崎、佐賀の極早生ミカンが旬を迎えており、早生ミカン、普通ミカンと続いていき年明け3月ごろまで楽しむことができます。今回は佐賀県のミカンで使われている千代田化成をご紹介します。

皆さんご存じでしょうか？佐賀産のハウスミカンは生産量全国1位。もちろん温暖な気候を生かして露地みかん栽培も盛んな地域です。佐賀県全域でハウスミカン生産は行なわれていますが、約8割を県北西部にある唐津地区で生産しています。秋からハウス加温が始まり10月加温開始の場合は11月中旬には花が満開となります。その後の出荷は翌年4月～10月中旬までとなります。露地ミカンの開花が初夏の5月頃ですから、露地栽培とハウス栽培は季節を反転させた栽培となり、猛暑期、厳冬期に耐えながら安定した品質に仕上げる資材の一つに、

**千代田化成** があります。

使用方法は、実肥としての使用もありますが、お礼肥としての使用がほとんどです。

**使用量は1～2袋/10a使用。**

残念ながら、年々農家さんの世代交代により使用農家さんが減少しているのが現状ですが、今後は、「千代田化成」を知らない若い次世代農家さんにターゲットを絞り、まずは「千代田化成」を知ってもらいその良さを実感して頂くことが今後の推進ポイントとなりそうです。

やっば千代田と指名して頂く農家さんが1件でも増えることを願って。

## 新商品 亜リン酸・有機酸入り液肥 「ケレス」 試験紹介

九州営業部で実施している現地試験の中から、芝と水稻の結果をご紹介します。

**ケレス-P** 試験地:長崎県諫早市ゴルフ場 芝種:コウライ  
ケレスPの500倍希釈液を500ml/m<sup>2</sup>散布

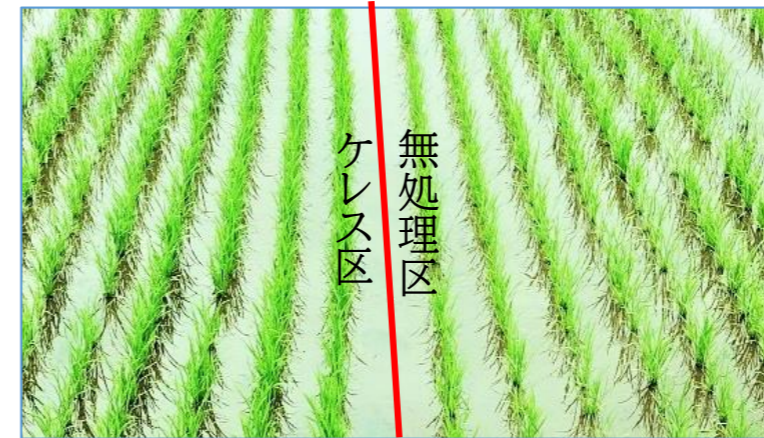


8月24日、散布時の気温29℃のもとケレスPの試験散布を行いました。試験散布の目的としては主に根の活性化、伸長効果とを見るため。また、近年ゴルフ場の管理で問題点でもある散水過多による藻類発生に対しても、亜リン酸には抑制効果が期待できるといわれていますが、その点を踏まえ多岐の観点から経過を調査していき、またの機会に報告したいと思います。

## ケレス-P 水稻 育苗箱葉面散布試験！(中間報告)

試験地:大分県豊後大野市 品種:ヒノヒカリ 6月14日田植え  
ケレスPの500倍希釈液を田植え前日に育苗箱へ250ml葉面散布

7月5日撮影(田植え21日後)



ケレス区で分けつ数が多く、ボリュームがある

ケレスPに初期生育の促進効果があることを確認できました。本年は、田植え後の気温は高く推移しましたが日照時間が短くなり、分けつ開始が遅れたことで茎数が少ない圃場が多くありました。このような天候の下でケレスの効果は顕著にみられたと思われます。収穫は10月ですので、収量結果は次の機会にご報告いたします。

ケレスの含有成分と効果は次の通りです。

亜リン酸	不良環境下での生育サポート 成り疲れ防止、樹勢回復、品質向上(着色、糖度)	
有機酸	酢酸	代謝サイクルの活性化
	クエン酸	
糖	エネルギー源	